



社会福祉だより

第111号

ふれあい

■発行

社会福祉法人

九重町社会福祉協議会

九重町大字後野上17-1

TEL 0973-76-2500(代)

0973-76-3267

FAX 0973-76-3835

Eメール: smile9@oct-net.ne.jp

ホームページ: [九重町社会福祉協議会](#)

九重町民生委員児童委員協議会 (5月全員協議会)

住民の方々が安心して暮らしていくために福祉のまちづくりを
推進しています (詳しくは4ページに掲載しています)



令和5年度 九重町社会福祉協議会事業報告

生活支援・支え合い活動について

- いきいき夢サロン(505回 延べ4,043名)
- 多世代交流共生共食の場
(東飯田地区 12回 643名、野上地区 11回 484名)
(飯田地区 12回 616名、南山田地区 12回 649名)
- 軽度生活援助事業 95件 200.75時間
- ささえあいサービス事業 251件 643.5時間
(くらしのサポートセンター東 252件 439.53時間)
(くらしのサポートセンター飯田 77件 171.25時間)
(くらしのサポートセンター南 56件 119.5時間)
- ふれあいプラザサロン(46回 延べ534名)

ボランティアセンター事業について

- ボランティア基礎講座(4回 延べ24名)
- 手話奉仕員養成講座(23回 延べ119名)
- 献立検討委員会(6回 延べ29名)
- 玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会研修会(2回 延べ160名)ほか

介護予防事業について

- ほほ笑い教室(83回 延べ929名)
- 通所型短期集中リハビリ教室(93回 延べ627名)
- 訪問型短期集中事業(74回 延べ165名)

介護保険事業

- 通所介護事業
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 居宅介護支援事業

障がい者福祉サービスについて

- 障がい者ホームヘルプサービス事業
 - 障がい者デイサービス事業
 - 障がい者相談支援事業
- など

地域福祉活動

- 福祉器具の貸出(29件)
- ふれあい備品貸出(65件)
- 無料法律相談所の開設(6日 33件)
- 障がい者年金相談所の開設(6日 0件)
- 生活福祉資金貸付事業(緊急小口貸付 2件)

九重町地域包括支援センター

- 九重町地域包括支援センター(対応件数4,843件)
- 総合相談支援業務(362件)
- オレンジフェスタ2023開催
- オレンジカフェ開催(23回 127名)
- 認知症サポーター養成講座(5回 延べ61名)

児童福祉について

- 子育て交流センター(248日開館、延べ9,612人)
- 児童館特別活動(56回、延べ905人)
- 児童ふれあい交流事業
- ブックスタート事業
- 図書、おもちゃ図書館(772個) など

その他の事業

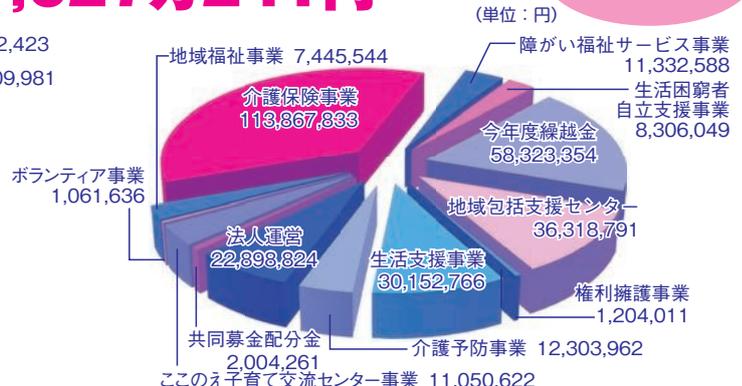
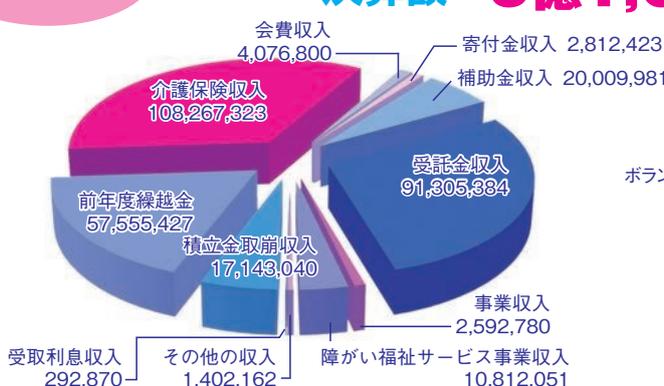
- コスモスのつどいの実施(2回、延べ55名)
- 広報紙発行(「ふれあい」3回、「すまいる」9回)
- ふれあい郵便事業(毎月約410名、延べ4,924名)
- 日常生活自立支援事業(204件支援)
- 生活困窮者自立支援事業(相談件数 88件)
- 第22回福祉ふれあい祭り・第49回社会福祉大会の開催(被表彰者5団体・16名、参加者約300人) など

令和5年度 九重町社会福祉協議会収支決算書

収入の部

決算額 **3億1,627万241円**

支出の部



<皆さんより頂く会費や寄付金は次のように使われました。>

(会費) 4,076,800円

- ボランティアセンター事業の一部 515,593円
- 生活困窮者自立支援事業の一部 353,049円
- 各種団体助成金 1,640,000円
- 広報活動の一部 68,750円
- 事務費等の一部 1,499,408円

(寄付) 2,812,423円

- 地域福祉活動推進事業の一部 1,360,069円
(マイクロバス等の維持費、地域福祉活動等)
- 第22回福祉ふれあい祭り・第49回社会福祉大会 184,200円
- 軽度生活援助事業の一部 44,157円
- 生活支援事業の一部 1,223,997円

令和6年度 九重町社会福祉協議会事業計画

基本目標

基本目標 1

支え合いとふれあいのある地域づくり

1. 支え合い意識の醸成と近隣のつながりづくり
2. 活動の場と交流・寄り合いの場づくり
3. ボランティア・支え合い活動の推進
4. 地域共生、福祉教育の啓発・普及
5. 九重町地域福祉計画との整合性・一体的推進

基本目標 2

誰も取り残さない、安心して暮らせる地域づくり

1. 包括的支援事業の推進
2. 相談しやすい体制づくり
3. 地域福祉権利擁護事業の充実推進
4. 孤独、孤立を防ぐ見守りネットワーク、住民活動の推進
5. 在宅生活を支える福祉サービスの充実
6. 子育て支援事業の推進

基本目標 3

誰もがいきいきと暮らせる地域づくり

1. 支援を必要とする人への自立支援
2. 認知症と共に生きる地域づくり
3. つながりが生れる地域づくり

基本目標 4

安定した法人運営と信頼される組織づくり

1. 社会福祉協議会の経営改善・再構築
2. 各種募金事業の推進

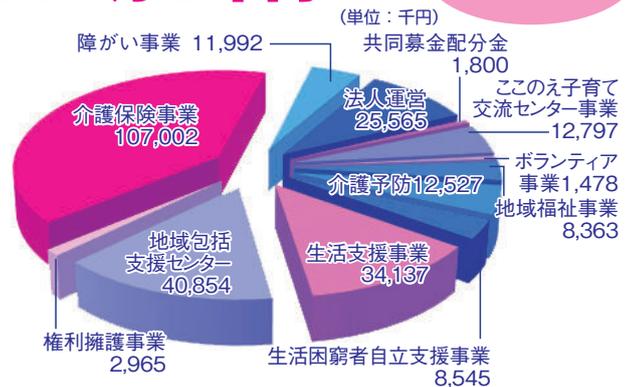
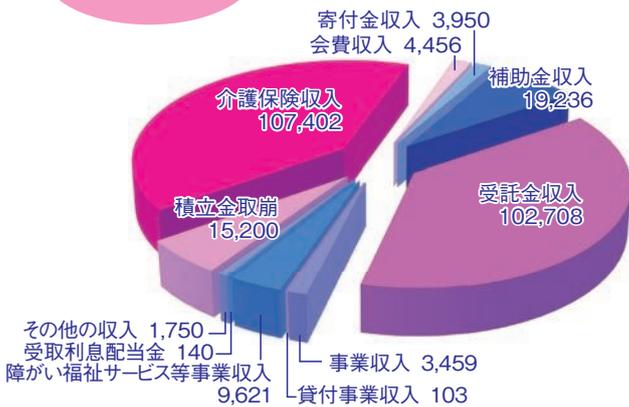


令和6年度 九重町社会福祉協議会当初予算

収入の部

予算総額 2億6,802万5千円

支出の部



<皆さんより頂く会費や寄付金は次のように使われます。>

(会費) 4,456,000円

- 生活困窮者自立支援事業の一部 …… 592,000円
- 各種団体助成金 …… 2,664,000円
- ボランティアセンター事業の一部 …… 689,000円
- 事務費等の一部 …… 511,000円

(寄付金) 3,950,000円

- 地域福祉活動推進事業の一部 …… 1,190,000円 (地域福祉懇談会、マイクロバスの維持費等の一部)
- 福祉ふれあい祭り・社会福祉大会経費 …… 916,000円
- 広報誌発行 …… 360,000円
- 軽度生活援助事業 …… 190,000円
- 生活支援事業の一部 …… 1,294,000円

令和6年度もご支援ご協力を
よろしくお願いいたします。

九重町民生委員児童委員協議会

九重町の民生委員児童委員は41名の民生委員・児童委員（うち4名は主任児童委員）が活動しています。

九重町民生委員児童委員協議会では、毎月全員協議会を開催しスキルアップや幅広い知識を身につけるために高齢者や障がい者・児童・防災・人権等に関する講義を受け、頼れる身近な相談相手として地域の皆さんのお役に立てるように委員活動に励んでいます。

今後も、活動スローガンである「支え合う 住みよい社会 地域から」をもとに、地域住民の立場に立ち、地域住民や関係機関・団体と連携、協力しながら支え合いの地域づくりをすすめていきます。



今後の活動に活かせるように、民生委員児童委員になって良かったことや活動で困ったことなど、グループワークで意見を出し合いました。

「傾聴」についての講義を受けています

福祉委員（区長）との意見交換会

複数の行政区を受け持つ民生委員児童委員の皆さんは、担当地区の福祉委員の方々と顔を合わせることで行政区内で見守りが必要な方々や住民の困りごと等の情報を共有することができ、さらに連携をとることで問題の深刻化を防ぐことができます。



野上地区



東飯田地区



南山田地区



飯田地区

地域での活動

訪問や見守りの他に担当地区でのマップづくりに参加し、地域のみなさんと生活課題や気になる方や非常時の避難や支え合いについて共有しています。また、サロンやふれあい地域食堂に参加し日頃からのつながりをつくっています。



サロン



マップづくり



ふれあい地域食堂

くらしのサポートセンター活動報告



安心して在宅生活を 続けていくために

くらサポ
会員募集中

～誰もが安心して暮らし続けられる共生の地域をめざして～

くらサポ東では今年度6年目を迎え、草刈り等の外作業、病院受診等の外出支援の他に「終活」や「衣替え」といった依頼内容が増えてきています。季節に合わせた快適な生活が送れるよう一人では億劫な整理整頓も、利用会員のできることを応援しながら一緒に作業を行います。作業を行う中で「ずっと気になっていたのが片付いて、気持ちがスッキリした～、ありがとう」「そんなに喜んでもらえて、こちらこそありがとう」とお互いに感謝の気持ちがこみ上げます。互いに助け合い、安心することで、在宅生活の維持へとつながる。そんなつながりが増えつつあります。



今年2年目を迎えたくらサポ飯田は、今年の取り組みとして出張（庭先）カフェに力を入れています。カフェの開催をきっかけに、サロンが立ち上がってないところや、これまで同じ地域にいながら接点のなかった方の家に出向くことで地域の方々がカフェで出会い、馴染みの関係になり、相談に乗ったりと、豊かな関係が生まれています。こうしてくらサポが、生活の困りごとの解決をする生活支援の組織から、本来の目的である「人と人、人と地域のつながりを取り戻す活動」へと進化してきています。



くらサポ南では退職と同時に声をかけられ、今年新しく活動会員になった二人も早速活動開始！高齢者宅の庭の手入れに汗を流しました。

「まだ忙しいので…」と会員登録を躊躇されている方もいますが、くらサポは「できる時にできる人ができることで」をモットーとしています。一年に数回でも結構です。

誰もが安心してくらしせる地域づくりの輪にあなたも入りませんか？



くらしのサポートセンターについてのお問合せ・作業依頼、カフェの申し込み

くらサポ東（東飯田地区）	東飯田公民館内	電話：76-3116
くらサポ飯田（飯田地区）	飯田公民館内	電話：79-2251
くらサポ南（南山田地区）	南山田公民館内	電話：78-8801



九重町のお宝！ 多世代地域食堂

参加者・食材
募集中

平成29年に九重町に誕生した多世代地域食堂。こどもから高齢者まで、地域に住む誰もが参加できる場として多くの方々に親しまれてきました。食堂を支えているのはボランティアである実行委員の皆さんと、「よかったら使って」と地域の皆さんから寄せていただいている野菜やお米などの食材です。最近は様々な団体からもあたたかい支援をいただけるようになりました。野矢地区にある「愛彩ファーム九重」からは、新鮮なパプリカと卵が毎週届きます。時々届くゼリーや乳酸飲料をこどもたちはとても楽しみにしています。また大分市にあるフードバンクおおいだから、大分朝日放送の職員さんがいろんな食材を車に満載して毎月1回、九重町まで運んで来てくれます。もちろん「公民館まで持っていけるので、取りに来てくれますか？」という声も大歓迎です。地域食堂は、みなさんからの善意とたくさんの方のありがとうが響き合う地域のお宝！あたたかい場所です。



参加支援がはじまりました！

「こどもにとっては地域デビュー、高齢者にとっては地域再デビューの場」をキャッチフレーズに、食と遊びと語りを通じて、世代を超えた「馴染みの関係づくり」に取り組んできた多世代地域食堂も7年目を迎え、新たな取り組みとして「参加支援」が始まりました。これは近隣の方の車に加え、当日使用していない社会福祉協議会の車を活用して、地域の有志の方々が運転や添乗を行い、まだ食堂に参加したことのない公民館から離れた場所にお住まいの方に地域食堂の良さを体験していただく取り組みです。先月は田尻、栃木、猪牟田、狭間の皆さんが初めて食堂に参加。「前から来てみたかったんよ！」「もっと早く来ればよかった！」「うん十年ぶりに同級生に会った！」と久しぶりの再会や世代を超えたふれあいに感激。別れの集いでは、「また来るよ」「元気でね」と笑顔で握手を交わし、来月へ思いを馳せる皆さん。次はあなたの地区からの参加をお待ちしています！



「参加支援」の利用を希望される方は、**申込み**が必要です。これまで参加したことのない地区の皆さん、誘い合って参加してみませんか？

多世代地域食堂についてのお問合せ・食材提供・参加支援の相談、申し込みは
九重町社会福祉協議会 地域福祉課 電話：76-2500
会場は各地区の公民館（第一土曜 野上、第二土曜 飯田、第三土曜 東飯田、第四土曜 南山田）



九重町地域包括支援センター便り

高齢者向け

夏の雑学クイズ

— 血压編 —

夏空の雲が一段と白く輝き始めるこの頃ですが、夏は高齢者が体調を崩しやすい季節でもあります。夏を元気に乗り切るために必要な知識を盛り込んだクイズに挑戦してみましょう。

第1問

薄口醤油は濃口醤油より塩分が少ない。

第2問

手軽なウォーキングやストレッチ、ラジオ体操のような少し汗が出る程度の運動でも、生活習慣病予防に十分な効果がある。

第3問

高血圧は頭痛やめまいが増えるので自覚症状がある。

第4問

血圧を1日1回計るならば、測定するのに適している時間帯は朝食時である。

第5問

病院受診時のみ血圧が高くなることを「白衣高血圧」という。

解答

第1問 ×

薄口醤油の塩分は18%、濃口醤油の塩分は16%です。薄口醤油のほうが実は塩分濃度が多いのです。塩分の摂りすぎに注意。

第2問 ○

第3問 ×

高血圧は自覚症状がほとんどなく、脳梗塞・心筋梗塞など命に関わる病気の原因になります。

第4問 ×

朝起きて、排尿した後が測定するのに一番適しています。

第5問 ○

逆に自宅で測った血圧が高いことを、受診時には高血圧が隠れていることから「仮面高血圧」と呼びます。自宅で測った血圧値が重要です。

皆さん、何問正解しましたか？

血圧が高い状態をそのままにしておくと、動脈硬化を促進し、脳卒中や心疾患、慢性腎臓病などの重大な病気につながります。

水分を十分に摂って、この夏もお元気にお過ごしください。



令和6年度 九重町地域包括支援センター 職員体制

* 担当地区は一応決めています。担当地区以外のことでも柔軟に対応しています。

* 職務内容以外にも職種で連携して業務を行っています。



私たちが担当します

お気軽にご相談ください 電話:76-3863
FAX:76-3835

氏名 (職種)	担当地区	職務内容
佐藤三鈴 (主任介護支援専門員)	東飯田	介護支援専門員への指導、助言や関係機関との調整を行います。
永楽直子 (介護支援専門員)	飯田	介護保険で要支援の認定を受けた方の介護予防ケアプランを作成します。
藤本理香 (保健師)	南山田	高齢者の方々が住み慣れた地域、ご自宅でいつまでも過ごせるように、また、要介護状態にならないように、相談窓口や電話など、様々な場で相談や情報提供、アドバイスをを行います。
熊谷智美 (社会福祉士)	野上	高齢者に対する虐待や悪質な訪問販売、成年後見制度利用支援など、高齢者の生活や人権を守るための権利擁護業務を行います。
後藤哲也 (認知症地域支援推進員)	全地区	認知症の人やその家族を支援する相談業務や、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援等を行います。
赤峰勝也 (事務員)		月例報告書、業務日誌などの作成と管理、請求業務の補助を行います。

福祉共育～淮園小学校の取り組み～

同じ地域に住む高齢者と交流しよう

淮園小学校の2、3年生が、校区内の高齢者の方々を訪問しふれあい交流をしました。

このふれあい交流は、福祉共育の一環として淮園小学校の「防災の取り組み」の授業と合同で行われました。地域の方とのつながりの大切さを学び防災に活かしていこうと、自分たちが描いた絵手紙を持ち、子ども達は3班に分かれて地域の方の家を訪問しました。



町の頼れる電機屋さん！
昔なじみのお客さんから連絡がある
とすぐに修理にかけつけています



防災意識の高さにビックリ！
非常時に備え、防災バッグを枕元
に置いている話を聞き子ども達にも
防災意識が伝わりました



**体操教室・サロンにも参加するパ
ワフルシニア！**耳が聞こえにくい
ことがわかると近くでゆっくり話
すやさしい子ども達



**パソコンも使いこなす地域のリー
ダー！**心を入れて描いた絵手紙を
渡すととても喜んでくれました



庭木の剪定も自分でします！
昔を思い出しながら、一緒にあや
とりをして楽しみました



元気な生涯現役美容師さん！
災害時等も自分にできることがあ
るかもしれないと意欲的です

今も現役で仕事をしていたり、自分の好きな生け花や草木の剪定作業をしたり、夢中になれることがある元気な高齢者と交流して、子ども達はとても驚いていました。

また、訪問した高齢者の自宅を自分たちが作った防災マップに書き込むことができ、より進化した地域のつながりマップが完成しました。

今回の交流を通して顔なじみの関係になり、『ささえあいの地域づくり』へと続く事を期待しています。



<交流センターで
貸し出しています>

- 本 3373冊
- DVD 94枚
- おもちゃ 172個

ここのえ子育て 交流センター



電話 73-2666 / FAX 73-2670

積木で遊ぼう!

4月より、みつばこども園の4歳児・5歳児クラスの子どもたちが積木遊びに来てくれています。たくさん積木をつかって鯉のぼりや遠足バスを作ったり、また各々がつくった建物を道でつないで大きな町をつくりました。黙々と取り組む真剣な横顔、完成したときの達成感に満ちあふれた笑顔がたくさん見られました♪

毎週土曜日は10時から積木遊びをしています。7月のテーマは「ピラミッドづくり」です。親子で積木遊びを楽しみませんか?

積木遊びは活動日以外のときもできますので、お気軽にお声かけください。



ちゅうりつぷ組(バス)



すみれ組(バス)



たんぽぽ組(道つなぎ)



さくら組(鯉のぼり)

源流探検

「みなさんは川の始まりを知っていますか?」

5月18日、九重ふるさと自然学校との地域連携事業で小学生と飯田のタデ原湿原へ行きました。植物や虫の名前など、子どもたちの疑問に九重ふるさと自然学校のスタッフの方が優しく教えてくれました♪

その後、長者原ビジターセンターへ行き、ハイビジョンシアターを観たりクイズラリーをしたり、九重町の雄大な自然を満喫した一日でした。



ココのえ介護事業センター

《お問い合わせ》
☎76-3267

デイサービス便り

デイサービスのご利用日は、
月曜日から土曜日まで。
毎日30数名の方々が楽しくご利用しています。



たまねぎの収穫をしました



デイサービスの畑で育てた玉ねぎの収穫や夏野菜の苗を植える準備をしました。
天気も良く気持ちの良い風がそよぐ中、たくさんの玉ねぎを収穫することが出来ました。
次はナスやミニトマトの夏野菜苗を植えたので暑さに注意しながら野菜達の成長を皆さん楽しみにしています。

今年の玉ねぎは立派に
できちよる!!



よー、草がはえちよーわ (笑)



写真?
えっー、恥ずかしい
ピース!(^^)!

ナスがよーけ
なるといいのお



みてん!!
ばされ大きい玉ねぎじゃ!!



あたたかい 心の輪

◎香典返し(二十九件)

- ▽三月
 - ・一万円也 亡母美恵子
 - ・中村 清川卓史様
 - ・五万円也 亡母三夜子
 - ・書曲三 中西義春様
 - ・二万円也 亡父高野克己
 - ・須久保 森川和樹様
 - ・金一封 亡母ハマ子
 - ・桐木二 竹尾義和様
- ▽四月
 - ・二万円也 亡父 清城
 - ・梶屋 松岡結城様
 - ・五万円也 亡妻イソ子
 - ・青山通り 森 聖様
 - ・金一封 亡妻 弘美
 - ・鹿伏 佐藤秀信様
 - ・一万円也 亡父 健
 - ・木納水 日野 豊様
 - ・五万円也 亡子 吉孝
 - ・木納水 江藤富勇様
 - ・五万円也 亡母ミチヨ
 - ・中板 江藤光廣様
 - ・三万円也 亡父 恒喜
 - ・北九州市 小野東洋様
 - ・三万円也 亡母ムツ子
 - ・井手 佐藤清文様

- ・三万円也 亡母一二三
- ・横尾 香下一雄様
- ▽五月
 - ・三万円也 亡父 格雄
 - ・湯坪下 渡邊恵文様
 - ・一万円也 亡母 末子
 - ・田代 岩尾浩二様
 - ・三万円也 亡夫 長生
- ▽六月
 - ・五万円也 小笠原末子様
 - ・川東下 亡母 峯子
 - ・金一封 佐藤紀美子様
 - ・黒猪鹿 亡母ミユキ
 - ・金一封 白地清二様
 - ・北方上 亡父 宗典
 - ・五万円也 甲斐信也様
 - ・重原 亡母ミヤ子
 - ・三万円也 佐藤紀明様
 - ・萩釣上 亡母 綾子
 - ・三万円也 河野保則様
 - ・中村中一 亡父千代喜
 - ・三万円也 有吉勝藏様
 - ・相狭間 亡父 美徳
 - ・三万円也 佐藤貴重様
 - ・陣の内上 亡母 澄子
 - 今給黎美友様

ありがとうございます。
令和六年三月〜令和六年六月までの間に次の方々から社協へ香典返し等数々のご寄付をいただきました。紙面をもって厚くお礼申し上げます。ご寄付のご厚志は社会福祉の推進のため、有意義に活用させていただきます。

ご寄付いただいた方々にご了承いただき、お名前や金額等を掲載してまいります。(ご希望により省略する場合があります。(受付順・敬称略))

◎特別寄付(五件)

- ・二万二千二百五十五円也 食と命を考える会 代表 日野優一様
- ・金一封 NOSAIおおいた 中西部支所女性部 「リベルテ」 玖珠支部様
- ・五万円也 泥よこい歌と踊りの祭典 実行委員会様
- 匿名希望様 二名

ご活用ください！ レク備品貸し出します！

備品No.16 省エネカルタ

省エネカルタは1年間の節約金額や節約のコツを表示した絵札がおもしろく参考になるカルタです。カルタ遊びを通じて省エネについて理解し、日常生活に取り入れてみましょう。



九重町社会福祉協議会ではほかにも【たいこ相撲】【思い出カルタ】など、全部で32種類の備品を貸し出しています。
対象は町内の団体等、貸出期間は2週間、料金は無料です。
詳しくは、九重町社会福祉協議会までお問い合わせください。(☎76-2500)

シリーズ 町の幸齢者さん

九重町で90歳を過ぎて生き生きと暮らしている高齢者の方へ幸齢者の方に元気の秘訣をお伺いします。



NO.26 東飯田 北恵良二
森 トシ子さん(95歳)

- Q.元気の秘訣は何ですか？
A.草取りなど出来るだけ体を動かすことです。
- Q.楽しみは何ですか？
A.読書、配りものを読むことが楽しみ。

- Q.これからの目標を教えてください
A.花や庭木の世話をすることです。

「幸齢者さん」の情報は、九重町社会福祉協議会(76-2500)までお電話を！自薦・他薦は問いません！お待ちしております！

季節の植物

【サトザクラ】

佐藤 三千代

関東南部の暖温帯に分布し、特に伊豆大島に多いのでオオシマザクラの名がある。

花期は遅くソメイヨシノやヤマザクラより遅い。自生品は白色で20mを超す大木になる。花色・花弁数などに変異が多く昔から観賞価値の高いものが栽培されてきた。

そのためサトザクラや八重桜と呼ばれるようになった。ヤマザクラに似たようなところもあるが、サトザクラは葉の裏が緑色で遅咲き、やや大きな花と花時伸びた若芽が緑色で区別できる。桜餅を包むのにこの葉を塩漬けにして使う。花も同じ香りがする。

花色と花弁の数にもいろいろあり多くの品種がある。品種は花色が純白、つぼみは紅色で白から淡いピンクに変わる上品な淡紅色、紅色等がある。黄桜、緑桜、花弁数が多い菊桜もある。

いにしえの奈良の都の八重桜 今日九重に匂ひぬるかな



サトザクラ

白い桜の「奈良の八重桜」はカスミザクラの栽培品で奈良の知足院にあり国の天然記念物です。一方興福寺の僧侶が好んだ淡い色の「楊貴妃」も気にかかります。サクラといえばソメイヨシノが普通ですが故郷の桜は天狗巣病がひどい。もつと手入れをするか別のものを植えることも考えてみては??

今月のちよつと一言

今年は梅雨入りが遅くなりましたが、この「ふれあい」が皆様のお手元に届くころには梅雨が明けて、毎日暑い日が続いていることと思います。

日本は四季があり季節の移ろいに心を和ませられる事もあれば、雨・風に不安を覚える事もありますよねえ～。今はそんな季節。雨が少なければいつか又、大雨で災害が起きるのではと不安になってしまいます。

こんな時こそ地域で防災の事をしっかり考えなくてはと思っています。「自分の命は自分で守る」自分が助からないと他人は助けられませんものね。寝る時はそばに最低限の非常持ち出し備品（履物・ライト・笛・ラジオ・携帯電話）を用意しましょうね。

(野上 香代子)



◆社協会員加入のお願い◆

社会福祉協議会の福祉事業は、皆様方よりお寄せいただく会費、寄付金などを財源として行われています。社会福祉協議会をご理解いただき、ぜひ会員としてご加入いただきますようお願い申し上げます。

- 障がい者福祉のために
- ボランティア育成のために



会費は次のとおりです

- 普通会員 年額一〇 1,500円
- 特別会員 年額一〇 3,000円
- 特別賛助会員 年額一〇10,000円

会費の取りまとめは
各行政区の福祉委員(区長)さん
にお願いしています。